

「当院における精神疾患合併妊娠についての研究」

1. 研究の背景と目的

精神疾患合併妊娠は、死産、早産、低出生体重児などの増加をはじめ、周産期予後が不良となることが報告されています。また妊産婦死亡において自殺が問題となっており、その背景として精神疾患が関係していることが報告されています。このように精神疾患合併妊娠はハイリスク妊娠としての慎重な周産期管理が必要であり、その臨床経過を明らかにすることは、精神疾患を持たれた妊婦さんの予後を改善するために重要なことと考えます。当院は山口県内で精神科を備えた2つの周産期センターの1つであり（もう1施設は、山口大学病院）、精神疾患を持たれた妊婦さんの支援を行なっています。今後、当院で精神疾患合併妊娠を管理していく上で精神疾患を持たれた妊婦さんの経過を把握しておくことは重要と考えられます。そこで、当院における精神疾患合併妊娠の臨床経過について検討を行なうことを計画しています。

2. 研究対象者

2013年1月1日から2017年12月31日の間に、山口県立総合医療センターで周産期管理を行った、精神疾患を持たれた妊婦さんです。

3. 研究デザイン

周産期予後および精神疾患に対する薬物療法についての状況、予後等について、診療録を用いて後方視的に検討します。

4. この研究に参加することの利益・不利益

本研究は既存情報を用いた研究であり、直接的な利益は生じません。しかし、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。不利益に関しては、研究対象者に対して介入を伴うことがないため不利益は生じません。個人が特定されることのないよう情報の取り扱いに配慮して行います。

5. 同意と拒否

本研究の実施についての情報を山口県立総合医療センターのホームページに公開することにより、直接の説明や同意をいただく手続きに代えさせていただきます。対象者に含まれていると考えられ、本研究に同意いただけない方は担当者まで御連絡ください。

6. 担当者

施設名：山口県立総合医療センター（代表：0835-22-4411）

責任者：産婦人科部長 三輪照未